



群馬工場

- 本社所在地：東京都八王子市
- 事業概要：GHP用コンプレッサーの製造・自動車部品等の卸売
- 常時使用する従業員：36名
(2025年4月時点)
- 現在の売上高：29億円
(2024年5月期)
- 法人番号：2010101001497
- Web：https://www.mitoyo-corp.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
平 勝

技術と人の調和を基礎とし、顧客に満足される製品およびサービスを提供します。

三豊精工株式会社は、日本唯一のGHP用ベーンロータリー方式コンプレッサー技術を持つ製造業として60年の歴史を積み重ねてきました。2032年5月期までに売上100億円企業への飛躍を目指し、エネルギー高効率化による省エネ社会への貢献と次世代冷媒への対応を推進します。群馬県を拠点とした雇用創出と300社を超える協力会社との共存共栄、そして社員一人ひとりが誇りを持って働ける環境づくりを通じて、技術と人の調和による新たな価値創造に挑戦し続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年5月期の売上高100億円達成に向け、取引先からの増産要請に対応し、市場の伸びを大幅に上回る成長を実現する。2032年次世代冷媒対応の先行開発で大手メーカーとの取引を拡大。ベーンロータリー方式技術を活かしGHP向けコンプレッサー市場でニッチ分野の独占的地位を確保する。また、設計開発力に強みを持つ企業のM&A戦略を推進する。

課題

- 自動化・IoT化推進に対応可能な専門技術者の確保と育成
- 熟練技術者が保有するベーンロータリー技術の形式知化と若手への技術伝承
- 2032年次世代冷媒規制に対応する研究開発投資の資金確保と技術リスクへの対処
- 新規受注獲得に向けた品質要求水準への対応

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 取引先増産計画に対応した製造エリア拡充と自動化設備投資による生産能力増強・収益性強化と企業成長の原資確保
- ベーンロータリー方式の技術的優位性を活かしたGHPコンプレッサー市場シェアの戦略的拡大
- 2032年次世代冷媒規制対応の先行開発体制構築と技術競争力の確保
- 設計開発に強みを持つ企業・事業部門のM&A実施による技術基盤強化・シナジー効果創出

実施体制

- 次世代冷媒技術開発室の設立と研究開発人員の増強
- 新規取引先からの受注獲得に向けた専門営業部隊の設置
- M&A実現に向けたプロジェクトチームの設置と投資銀行等の連携強化
- 既存取引先との定例会議体（月次）設置による需要予測と生産計画の最適化、技術開発推進

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです